

第1章 整備計画の目的

1-1. 目的

- 長野市水道ビジョンに掲げる基本目標の「強靱な水道」を実現するため、中長期的な視野に立ち50年後を見据えた整備計画を策定
- 水源・施設の統廃合やダウンサイジングにより、老朽化した水道施設の更新を適正な規模で効率的に実施
- 基幹となる管路の耐震化を促進し、地震災害等に強く安定供給できる水道施設の構築
- 過疎化が進むと予想される地域は、それぞれの地域の実情に合わせた整備計画を策定

1-2. 位置付け

本計画は、長野市水道ビジョンの将来像である「世代から世代へ安心を引き継ぐ長野の水道」を目指し、「強靱な水道」を実現するため、市の上位計画である「第五次長野市総合計画前期基本計画」と整合を図りながら計画を策定し、長野市水道事業経営戦略に反映します。(図1)

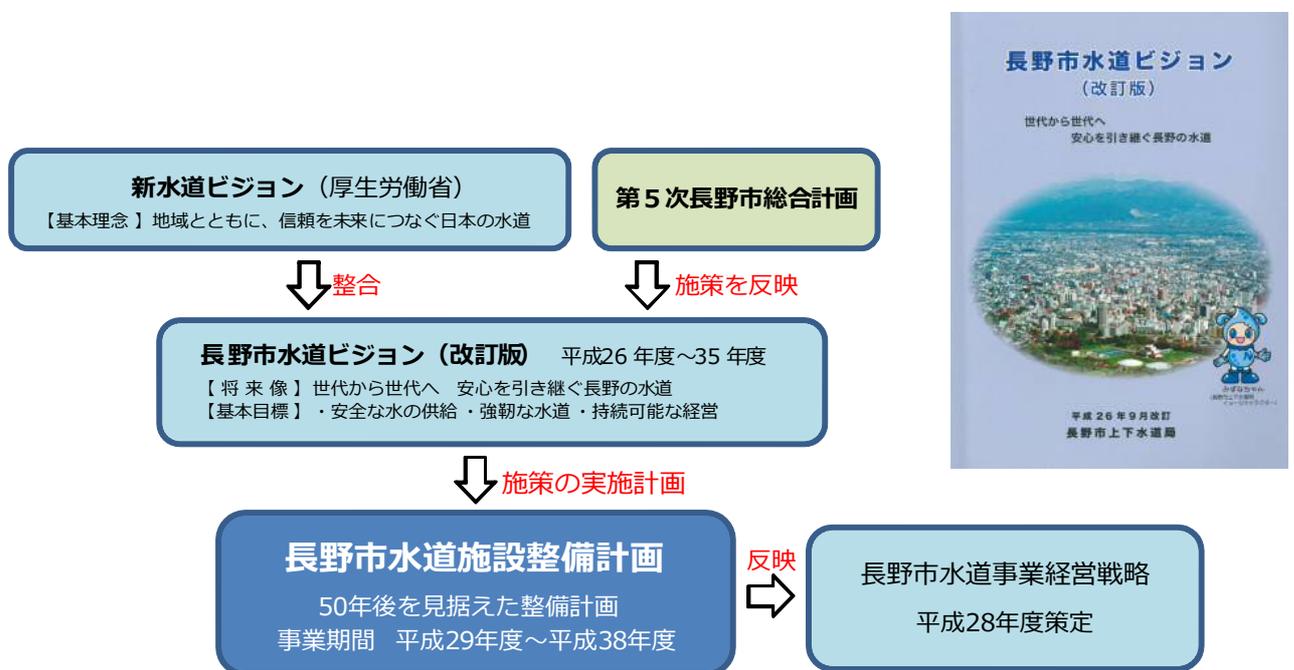


図1 整備計画の位置付け

1 - 3. 長野市の水道

長野市は、長野市上下水道局が経営する市営水道と長野県企業局が経営する県営水道に分かれています。市営水道には上水道事業と5つの簡易水道事業があり、平成27年度末現在で上水道事業の給水人口は265,292人と全体の約70%、簡易水道事業は11,226人と全体の3%を占めています。(図2)

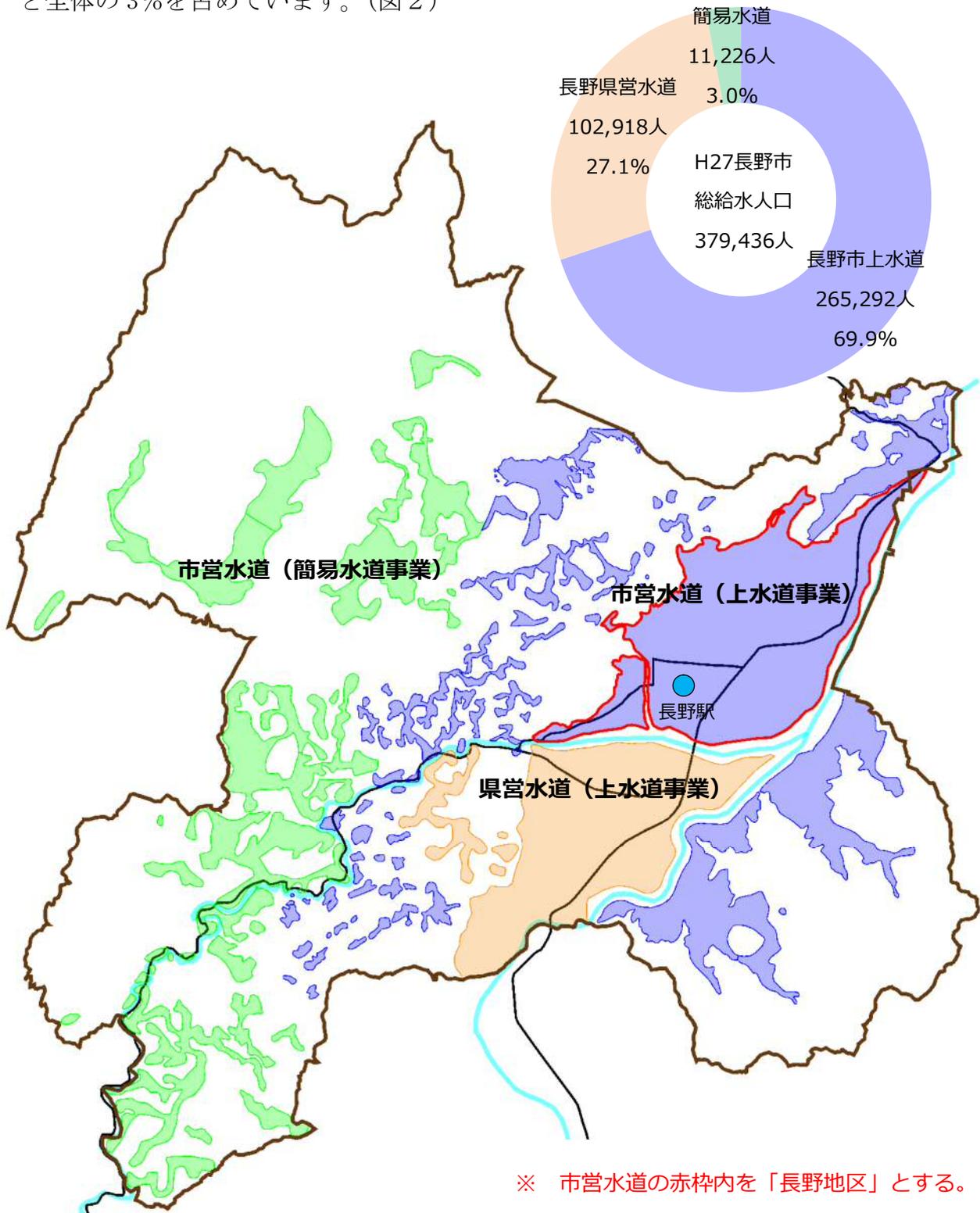


図2 長野市の水道事業

1 - 4. 策定スケジュール

整備計画は、以下の3地区に分けて策定し、順次事業を実施していきます。(表1)

表 1 整備計画の策定スケジュール

対象区域	給水人口	水道施設整備計画策定年度				
		H27	H28	H29	H30	H31
上水道事業 長野地区 第一、第二、第三、第四、第五、 芹田、古牧、三輪、吉田、 安茂里、大豆島、朝陽、古里、 柳原、長沼、若槻、浅川の一部	217,917 人 78.8%		整備計画策定	事業実施		
上水道事業 その他市街地周辺及び中山間地域 松代、若穂、豊野、浅川の一部 茅井、小田切、七二会、信更	47,375 人 17.1%			整備計画策定	事業実施	
簡易水道事業 戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、 中条	11,226 人 4.1%				整備計画策定	事業実施

1 - 5. 事業期間

整備計画は、中長期的な視野に立ち50年後を見据えた計画ですが、その計画を踏まえたより具体的な事業計画については、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。